

2023年度 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6 年 2 月 1 日
事業所名 コラボいなぎいなぎこども発達支援センター

		保護者等数(児童数)50名				回収数 25名	割合 50 %	
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	64%	28%	4%	4%	走り回れるほどの広さは無いのかな…と、感じます。 施設が古いので仕方ないと思います。 部屋が狭く、あまり綺麗ではない。	・毎日の清掃に加えて、年2回は大掃除をし、施設内を清潔に保てるよう努めます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	84%	4%	4%	8%	困ったことがあれば親身に話を聞いてくださり改善策やアドバイスをくださり本当に助かっています。 よく見てくださっている。 いつも適切なアドバイスをいただいています。 人手不足を感じる時があります。 こどもの意思を尊重してくれている。	・常勤職員、非常勤職員ともに専門性や支援の幅が広がるよう研修を行っています。 ・職員の配置基準は満たしています。各職員のスキルアップを図り、お子さんの支援につなげていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	84%	12%	0%	4%	その子達一人一人にあったアイデアや方法で対応してくださってます。ありがたいです。 目で見えるようにカードを使ってくれます。	・部屋の構造科や視覚支援を行い、お子さんの主体性や自主性につながるよう工夫しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	64%	24%	8%	4%	施設や道具がとても古いと感じます。 環境的に虫がいるので、食べないか心配な時がある。 古い施設なので職員の方の努力で何とか保たれてる感じがします。 机と椅子のサイズが子どもの体格に合っていない。 綺麗とはいえない。壊れている家具が多いように見えました。 玄関の境目がないので、砂ぼこりが気になります。 古いから仕方ないとは思いますが、綺麗ではないです。	・人体に無害な防虫剤を適宜建物周りに散布します。 ・少なくとも半期ごとにお子さんの成長に合わせて椅子を変更したり、机の高さを調整します。 ・年1回設備点検を行い、必要に応じて修理をしています。また毎日の清掃や、年2回の大掃除を実施し、施設内を清潔に保てるよう努めます。
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか	92%	0%	0%	8%	よく子どもをしっかりみてくださってるなど毎回感じています。 的確な支援内容に共感し、毎回とても勉強になります。	・支援計画を立案する際には保護者の方のニーズを確認しています。また、お子さんのご様子について細かくアセスメントを行った上で支援計画を立案しています。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	92%	0%	4%	4%	わかりやすく説明していただいています。	
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	92%	0%	0%	8%	計画に沿った支援をしてくださってるので子供の成長がより鮮明にわかります。 この半年で大きく成長しました。	
	8	<u>活動プログラム*3</u> が固定化しないよう工夫されているか	92%	0%	0%	8%	家ではできない体験や飽きのないプログラムを組んでくださってるので親の私もフィードバックを聞くのを楽しみにしています。 楽しんで取り組めているようです。 公園にも連れてってくれます。 同じような内容でも少し変化や難易度を上げていただいていて、成長がわかりやすい。	・グループ療育ではお子さんの理解に合わせて「分かって取り組める」ことを目的として繰り返し行う活動も設定しています。その中で徐々に主体的な取り組みにつながるような工夫や活動の難易度や内容に変化を加えていく工夫を行っています。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	36%	8%	16%	40%	公園で地域の子どもたちと会ったりすることはありますが、コロナの観点でイベントごとやプログラムにいれるのはなかなかまだ難しいと感じてます。 月一の面談なので必要としていない。 交流あるともっと幼稚園や保育園の障がいの子達の理解が進み、受け入れてくださるきっかけになるかなと思いました。	・交流については通所されているお子さんの必要性に応じて検討していきます。
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	96%	0%	4%	0%		・契約時に説明し、書面をお渡ししています。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	100%	0%	0%	0%		・支援計画を改訂する際には面談を行い、支援について直接お伝えする機会を設けています。
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ <u>ペアレント・トレーニング*4</u> 等）が行われているか	60%	4%	4%	32%	リモートで勉強会に参加できるのがとてもありがたいです。 具体的なアドバイスをいただき助かっています。	・系統立ったペアレントトレーニングは行っていませんが、個別に保護者の方の相談から、お子さんに合った対応について一緒に考えていきます。 ・保護者会や保護者勉強会を開催し、保護者の方の力になるよう企画していきます。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	96%	0%	4%	0%	いつも丁寧にご説明いただきありがとうございます。 的確な状況説明と子供の特徴をわかりやすく伝えていただき、親の話も聞いてくださっています。	・グループ療育では日々の連絡帳だけでなく、コドモンアプリを利用し、活動の様子を写真で伝え、情報の共有を図っています。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	92%	0%	0%	8%	ありがたいことにたくさん相談にのっていただいています。 詳しく話を聞く機会があり、ありがたいです。	・前期後期の面談だけでなく、必要に応じて面談を行っています。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	52%	4%	4%	40%	年間の回数が少ないように思います。1度行けないと期間がかなり空いてしまうので月1くらいでその時、その時行ける人が集まれるようにしたらもっと交流が持てたと思います。 保護者同士の意見交換の場を設けてくださり、ありがとうございます。	・グループ療育をご利用の方は保護者交流を目的とした行事を年5～6回行っています。 ・個別療育のみをご利用の方は年2回の保護者勉強会を行っています。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	84%	4%	4%	8%	相談事はありませんが、何かあればいつでもどうぞと声かけていただいています。 いつもの確なアドバイスをいただいています。 転入して来ましたが養育の利用には医師の診断書が必要と伝えられ、前住んでいた市では必要なかったため通うまで時間を要した。	・ご希望にや必要性に応じて面談を行っています。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	92%	0%	0%	8%	毎回ご説明を丁寧にしていただいている。	・グループ療育についてはコドモンプリを利用し、定期的に写真をアップし、ご様子をお伝えしています。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	64%	4%	0%	32%	月一の利用で親子で面談なので不要。	・グループ療育では毎月予定表をお出ししています。 ・自己評価結果については法人ホームページでいつでも閲覧できるようにしています。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	96%	0%	0%	4%		・個人情報の入った文書は中身が見えないよう黒いファイルを使用しています。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	44%	8%	0%	48%	月一の利用で親子で面談なので不要。	・感染症マニュアルに基づき年1回感染症対策訓練を行っています。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	44%	8%	0%	48%	月一の利用で親子で面談なので不要。 伝言ダイヤルしてます。	・グループ療育については避難訓練やそれに代わる職員の災害訓練を実施しています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	100%	0%	0%	0%	とてもとても楽しみにしています。生き生きとした子供の姿をみれてとても嬉しいのと、子供の家以外のもう一つの居場所ができて親も子どもとてもありがたく感じてます。 先生との面談でゲームなどをして自信につながっている とても楽しみにしています。	・グループ療育、個別療育ともにお子さんの可能性が伸びていくよう、一人一人に合わせた支援を行っています。またお子さんの変化を丁寧に見ていき、活動の内容や支援方法を適宜変化させていきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	92%	4%	0%	4%	とても満足です。いつもありがとうございます。 いつも大変お世話になっております。 いつも丁寧な対応をしていただいている。	

*1「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。